

江東区こども発達亀戸センター 支援プログラム

営業時間	9時00分～17時00分	送迎実施の有無	有	通園バスあり 大人同伴乗車
法人理念	この世に生まれてきたこどもは、一人ひとり異なった特性を示しながら育ち、どんなこどもも等しく尊い命を生きており、存在の価値は変わらない。支援とはそれぞれの尊い命が精いっぱい生きるように助けることである。			
支援方針	①対人関係、コミュニケーション、社会性を育む ②感覚、運動、情動を育み、主体的に楽しく生きる ③ことば、認知、概念、状況に気づく力を育む ④家族や地域の繋がりの中で共に楽しく育つ			
支援内容				
対象グループ	幼児グループ 半日支援コース すてっぷ [®] 年齢：3～5歳児 登園頻度：毎週、隔週、月1回 午前グループ9:45～12:15（給食含む） 午後グループ13:30～15:30			
ねらい・支援内容	ねらい：認知発達、コミュニケーション力を育み、 集団適応へとつなげる		支援内容：始終点を明確にし、個に合わせた段階を設定し 予測・見通しの持ちやすい枠組みを提示する	
本人支援	健康・生活	・自分の身体の状態をことばで伝える ・エチケットやマナーの獲得する ・自分の持ち物を管理、整理する	・喉の渇き、暑い寒い、尿意・便秘等の確認 ・シャツの裾入れ、物の渡し方等 ・登降園時の支度等	
	運動・感覚	・指先等微細な動きの摸倣、左右の分化等ボディイメージを育む ・遊具に合わせた運動技能の獲得する ・状況、相手に合わせて動きを調整する力を育む	・運動活動：固定遊具、マット運動、ボール（ポーリング、キャッチボール等）、大縄等／体操、リトミック ・対人交流活動（ぎったんぱっこん、ひっぱりっこ、ころがしっこ、おんぶ、岩運び等）	
	認知・行動	視覚・手指技能を育む（道具の操作～書字） ・視覚認知力を高める（弁別・構成課題） 言語 ・語彙を増やす（名詞、動詞、形容詞） ・関係概念のことばの理解を育む 行動 ・注意の持続、情動調整を学ぶ	・ハサミ、糊等を使った製作／なぞり、塗り絵、迷路等 ・型はめ、色・形分類、収集／パズル、模倣構成 ・具体物、絵カード ・比較、数、因果関係等 ・静穏な環境設定、配置の検討／気持ちの代弁等	
	言語 コミュニケーション	・言語伝達、表現力を高める（2語文から多語文） ・助詞の適切な使用を学ぶ ・質問語を理解して答える（名前・年齢／好きな物／経験したこと／友達のこゝろ等）	・日常のやりとり、学習場面で表現方法を伝える ・文字を使い、視覚的に示す ・インタビュー、発表場面	
	人間関係 ・社会性	・大人との関係を育む ・友達への興味関心を育む、友達同士でやりとりをする ・着席行動の定着を図る、話を最後まで聞く ・流れ、役割内容、勝敗等活動のルールを理解する	・身体遊び、ことばでのやりとり ・貸し借り、対人交流活動、チーム活動、作戦会議等 ・集まり（呼名、読み聞かせ等）、活動の提案等 ・ルール遊び（椅子取りゲーム、フルーツバスケット、しっぽとり、転がし中当て等）	
地域支援・地域連携 (地域交流・園外活動)	・並行通園先、保健相談所等と情報共有をする ・こどもの支援のつながりを作る ・地域に開かれた場づくり		・職員見学訪問（幼稚園・保育園等の見学、懇談） ・電話等での情報共有、相談 ・見学の対応、ボランティアの受入、発達支援講座開催	
移行支援	・就園、就学、転園の際に丁寧な情報共有を行い切れ目のない支援へとつなげる		・就園、就学、医療機関への発達支援報告書の作成 ・就学相談の資料、就学支援シートの作成 ・引継ぎ会議の参加	
家族支援	・家族からの相談援助の場をつくる ・保護者同士のつながりの場をつくる ・子育てやこゝろに関する学びの機会をつくる		・個別保護者面談、クラス懇談会 ・保護者会、父母会（修了児保護者のお話し会） ・子育て講座、個別こゝろの相談、ことばの相談	
職員の質の向上	・児童発達支援事業の必須研修等を大切に ・内部・外部研修を設け職員の専門性を高める ・利用者・職員・法人の協力で評価・改善をする		・虐待防止、感染症予防等、身体拘束等適正化、防災等 ・内部：CoCo療育、認知発達、感覚統合、SST、ペアレ ・利用者・アンケート、第三者評価の実施等	
主な行事等	・家族に療育場面を知ってもらう ・健康、危機管理に関する事業に取り組む		・日曜療育参加 ・小児科健診、整形外健診、防災訓練・避難訓練	